

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果 (公表)

令和3年11月22日公表

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1		4	・少し狭いと思う ・勉強する空間と遊ぶ空間があり、活動スペースは十分あると思う ・他の児童のことが気になり集中できないことがあるのでもう少し広い方がいい。	感染症予防の観点から、利用児童同士が向かい合わせにならないよう座る場所を工夫したり、部屋の広さは変えられませんが、他の児童が気にならないように、パーティションを使って集中できる環境作りに配慮したりと工夫をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	1		2	・学業はしっかり学べている ・人数が適切かは分からないが、想像以上に多いと感じる ・見守りの人数がもう少し多いほうが安心。 ・言語聴覚士がいると頼りになる。	直接処遇職員は基準より多く配置していますが、利用児童の人数や特性に合わせた見守りが出来るよう配慮しています。今年度から、現在理学療法士を2名配置しておりますが、言語聴覚士の配置は出来ておりません。今後も各児童の課題に合わせ、専門職員の配置を検討していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17			14	・設備の事は分からない ・よく分からない。 ・契約日以降、事業所内の様子を見たことがないため、HP等で設備や間取りについて公開していただければ幸いです。	全児童の活動や支援に支障がないよう環境整備に配慮します。事業所の設備は重要事項で説明しており、室内の形状はHPに写真で掲載していることを周知していきます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	30			1	・成長が見える ・子どもの発達状況や様子、保護者の希望などを考慮し作成されている ・利用を始めたばかりなので、分からない。 ・学校や他のデイサービス連携を深め、より充実した個別支援計画となります様、支援者会議への参加をして欲しい。	児童と保護者様のニーズや課題が客観的に分析された放課後等デイサービス計画を作成するように努めております。また支援者会議には参加し、学校や関係機関との連携を図っております。今後はさらに保護者様との情報交換や相談支援のサービス計画を参考にするなど、得られた情報を基に計画書を作成しています。今後も支援者会議への参加を継続し、他機関との情報共有に努めていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	2		4	・コロナ禍で大変だと思うが、子どもが楽しめるイベントを開催してる ・利用を始めたばかりなのでまだ分からない。 ・季節のイベントがもう少し増えると、通所の楽しさが増えると思う。	定着を目指し、あえて固定させたカリキュラムと並行してイベントを企画しています。基本プログラムを軸に四季に応じた制作やイベントを行い、利用児童が楽しめるよう計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	3	18	・今のところはない ・他のクラブと交流があるか不明 ・コロナ予防で現在は無いが、以前参加したことがある。 ・事業所外で活動する機会があると良い。	児童はそれぞれ学校に通学しており、障がいのない児童との交流はできていると考えております。事業所の企画では、コロナ禍もあり、現在交流はありませんが、保護者様の意向を確認しながら、ご希望に従って交流方法を検討していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1			・細かい説明があまりない為困惑することがある ・書面や口頭にて説明がある ・契約時に活動内容について教えてもらった	ご納得いただける丁寧な説明とならずに、今回は申し訳ございませんでした。契約時や内容の変更があった場合、ご質問があった際にはしっかりと保護者様へ丁寧なご説明ができるよう努めてまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	1		1	・連絡ノートに詳細に書いてあるので、様子が伝わる ・二年生になり減ったように思う ・先生方と話す機会がないため、はっきり分かりませんが、成長できている ・利用した日の様子を教えてもらい、子どもの様子が分かかって安心できた。 ・情緒面や学習支援についての相談を受け止めてもらった。	コロナ禍であり、事業所への入室には制限をかせせていただいております。保護者様とも十分な機会を作れずにおり、申し訳ございません。家庭連携や連絡帳を活用する等、連絡手段の複線化を図り、共通理解を深めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	4		2	・育児で分からない時に明確なアドバイスをしてくれた ・面談や助言も、二年になり減った ・具体的にどのような声掛けや支援によって苦手な活動にも取り組めたのか知りたい。 ・利用を始めたばかりなので、今後に期待しています。 ・送迎時だけでは話をする時間が取れないので日時を調整してもらいたい。	コロナ禍であり、事業所への入室には制限をかせせていただいております。保護者様とも十分な機会を作れずにおり、申し訳ございません。これまで通りと同様、またはそれ以上に家庭連携や連絡帳、児童発達支援管理責任者への直通電話やメール、ご希望により面談を通して保護者様や利用児童の状況を確認し、早めの対応が出来るよう努めていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	8	13	・コロナ禍なので難しい ・保護者連携はないが、なくても困っていない ・他の保護者と会えていない為、分からない。 ・コロナ禍につき現状のままが良いと思う。 ・利用している保護者の参加出来る行事等があると良いと思う。 情報交換できる。	コロナ禍において保護者会等については開催出来ない状況です。今後の検討課題ではありますが、保護者様のご意向を踏まつつ、必要に応じて指導の参観や、その他交流の機会を検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	1		6	・希望については対応している ・書類の呼称が統一されておらず、混乱したため、分かりやすいよう統一してほしい。	書類の呼称については、保護者様に混乱を招かないよう、職員間で周知徹底いたしました。お申し入れや苦情については、契約時に苦情担当窓口をお伝えし、いただいたご意見について迅速に対応し、事業所全体で解決に向けて話し合い、情報共有を図り、解決ができるよう努めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1		1	・何かあれば連絡があるので来ている ・情緒の乱れ等の子どもの様子に合わせて、もっとスムーズな寄り添いがあると良い。	利用児童の特性に合わせた声掛けや対応を考え、保護者様には電話やメールなども活用し、情報提供できるように配慮しています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	1		4	・イベントがある時は知らせがあった ・毎日LINEで発信されている ・毎月の行事予定が分かれば、通所意欲の向上につながるのではないかと思います。	年4回の会報の発行、ブログ・HP等で情報を発信しております。ご意見にもありますが、今後、行事等活動予定がお知らせできるよう「子どもカレンダー」という形式で月の行事などもご案内していきます。自己評価結果に関しては、公式Webサイトでの公開のほか、事業所内でも掲示しております。
14 個人情報に十分注意しているか	29	1		1	・特に気になったことはない	契約時に写真や氏名等、個人情報の取り扱いについて書面で確認し、掲載可否を都度確認しています。また、個人情報に記載された書類は鍵付き書庫で保管・管理しています。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	4		3	・書面にてお知らせがある ・各種マニュアルが事業所内に掲示されていることをアンケートの設問を読むまで知らなかった。	契約時に説明し、事業所内の分かりやすい場所に掲示し、適宜見直し改訂していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2		10	・分からない ・週2、3回の利用で参加できる機会はあるのか、その内容を本人に定着させられるのか気になります。	訓練は年4回実施していますが、出来るだけ多くの利用児童が参加出来るよう実施日を検討していきます。また、参加出来なかった児童にも内容が分かるよう、訓練の様子を撮影したり、事業所内に掲示する等の方法を模索し、配慮していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24	6	1		・皆と一緒に何かをする事に満足感を得ている様子 ・通所時の話を本人がしてくれ、楽しく行っています。 ・勉強はイヤだと言うが、遊ぶ時間も楽しかったことを話している ・コンパスに行きたい気持ちが強く、休みたいと言わない。 ・朝が苦手で、グズグズしながら行くが、帰りは笑顔で帰ってくるので、それなりに楽しんでいると思う。 ・楽しむというよりは頑張るという認識の方が強いが、以前に比べ通所に対して意欲的になってきた。 ・静かタイムへの抵抗も和らいできた様子。 ・本人も自宅と学校以外で安心して過ごせる場所として認識している様子がある。	多くの児童が「楽しみにしている」という評価とたくさんの嬉しいご意見を頂戴し、ひとこと一言が職員にとって何よりの励みになりました。事業所の取り組みにご理解をいただき、大変嬉しく思います。これからも児童の気持ちに寄り添うような支援を全職員で心掛け、支援計画を基に今後も成長のサポートをしていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	31				・細やかな配慮をしていただき、出来ることが増えた ・日々の成長が見られ、本人も楽しく帰ってくる ・希望に沿った支援をしていただいている ・利用時、送迎があるので助かっている。 ・子どものことについて今後も事業所内で、情報共有を宜しくお願いします。	保護者様全員から「満足している」と高い評価をいただき、嬉しい思いと同時に、身の引き締まる思いです。今後もくつろげて、楽しく、成長できる居場所として、利用児童の情報を職員間で共有し、児童に適切な療育を行えるよう努めます。これからも保護者様に信頼を寄せて頂けるよう、職員一同研鑽に努めより良い支援を目指します。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。